

入場無料

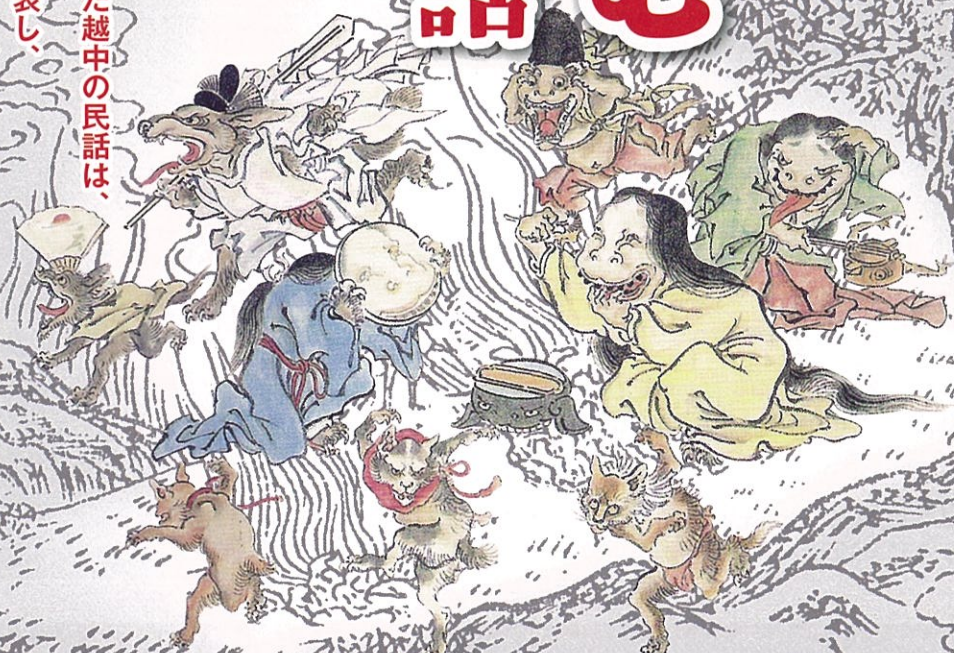
ギャラリー展 豊かなイマジネーション

妖怪がひそむ

富山の民話



景観を誇る富山の風土から生まれた越中の民話は、
襲ってくる困難を妖怪等にたとえて表し、
自然への敬虔な畏怖の念を育んできました。
民話をもとに生まれた文学作品にも焦点をあて、
ふるさと富山の風土に根差した心を探ります。



期間 平成27年

5月20日(水)~7月6日(月)

会場

高志の国文学館

◆開館時間 9:30~17:00
◆休館日 毎週火曜日
◆場所 ロビー

特別協力

平井 千香子 (日本画家 県内在住)

清河 北斗 (美術作家 県内在住)

展示会場催し

妖怪をさがせ!庭散策
7月4日(土)5日(日)には清河
北斗氏の作品に出会えます。

今 市子氏原画展
書き下ろし作品もAR
(イメージ映像)化し
て展示します。

富山の「文化」っておもしろい!
スペインからの留学生Sofia.PASTOR
MATAMOROSさんの絵によって、富山
の民話が大型スクリーンによみがえります。

取り上げる主な文学作品

・富山の民話
・『三州奇談』『絵本太閤記』
・泉 鏡花『蛇くひ』『黒百合』『星女郎』
『蓑谷』『龍潭譚』等

同時開催『田園発 港行き自転車』藤森兼明挿絵原画展 (5/29~6/29)

講演

演題

「民話のなかの妖怪たち」

6月14日(日)
14:00~15:30



国際日本文化研究センター所長

小松和彦 氏

1947年東京都生まれ。専門は、民俗学・文化人類学。東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得退学。信州大学助教授、大阪大学文学部助教授及び教授を経て、1997年より国際日本文化研究センター教授。その後2010年より同センター副所長を兼務、2012年4月より現職。2013年紫綬褒章受章。著書は、『神々の精神史』（講談社学術文庫）、『悪霊信仰論』（講談社学術文庫）、『異人論』（ちくま学芸文庫）、『悪霊論』（ちくま学芸文庫）、『妖怪学新考』（小学館ライブラリー）、『いざなぎ流の研究』（角川学芸出版）、『妖怪文化入門』（角川文庫）、『伝説はなぜ生まれたか』（角川学芸出版）など多数。

◆申込方法

下記申込欄に必要事項を記入し、高志の国文学館まで郵送またはFAXで送付してください。（お電話での申込も受け付けます。）

◆お問い合わせ・申込先

高志の国文学館 〒930-0095 富山市舟橋南町2-22
TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490

文学講座

講座
タイトル

6月27日(土)
14:00~15:30

少年の女神幻想
(泉鏡花『蓑谷』から)

富山高等専門学校 教授
高熊哲也 氏

【講座内容】

泉鏡花の代表作の一つに『高野聖』があります。富山を舞台に持つ作品『蓑谷』さらには『龍潭譚』はその源流とも言える作品です。城端町には縄ヶ池から流れ出る池川扇状地が広がっており、たびたび氾濫が起きたといえます。近世文献などに記録される縄ヶ池の龍女伝説は、そのような自然を背景に生まれたものでしょう。龍女伝説を下敷きに、無垢な少年が母を慕う思いを重ねて描かれた幻想世界を味わってみましょう。

大学生の
お兄さんやお姉さんとあそぼう!

5月24日(日)
10:00~11:00

◆場所:研修室101
◆対象:小学生、園児

(富山大学児童文化研究会による
民話読み聞かせ、ゲーム、プレゼントあり)

申込書

FAX 076-431-5490

氏名	参加をご希望する講演・講座等に○を付けてください。	<input type="radio"/> 5月24日(日) 10:00~11:00 大学生のお兄さんやお姉さんとあそぼう! 富山大学児童文化研究会
電話		<input type="radio"/> 6月14日(日) 14:00~15:30 「民話のなかの妖怪たち」 国際日本文化研究センター所長 小松和彦氏
FAX		<input type="radio"/> 6月27日(土) 14:00~15:30 少年の女神幻想(泉鏡花『蓑谷』から) 富山高等専門学校 教授 高熊哲也氏

※ご記入頂いた情報は主催者からの各種連絡・情報提供のためのみ利用致します。